心臓部の設計を任される存在に

サーモシステム事業部 設計部
機械設計課 設計係 **魚野 翠** さん

大学時代に設計の勉強をしており、これを生かせる仕事に就きたいと思い入社しました。入社後の半年は会社を知るための実習で、いろんな部署の仕事内容を理解しました。その後は生産技術部に所属し、当社の工業炉はどんなものか、どういう使い方をされているのかなどメンテナンスを通して学びました。

現在は設計部で既存装置を中心に、装置の構成に関わるあらゆる手配・発注業務に携わっています。どうすれば品質を改善できるのか、いかに作業効率をアップするのかを考え舵を取っています。設計については、今のところ工業炉の排気系配管が中心ですが、ゆくゆくは新規炉の心臓部の設計を任される存在になりたいと思っています。

設計部に配属されるまでに、他部署で様々な加工や作業を経験しましたが、この経験が図面の見直しや加工効率の検討など、現在の業務に生きています。

つい先日、委託協力会社で装置を組み立てる仕事がありました。当社では初めてとなる大きな仕事で、任された時は自分には荷が重いと思っていました。その委託先とのやりとりの中で、当社の“当たり前”とは異なったさまざまな指示・指摘を受けましたが、これに対応できたことは勉強になり自信につながりました。この経験を自社の装置設計にフィードバックし、さらなる品質向上に貢献したいと思っています。

休日は趣味のバイクで気分をリフレッシュ。いろんな所にツーリングし、おいしいものを食べて仕事への活力を養っています。

日々学び吸収、仕事のレベルを上げる

T&Dセンター **仲子 あかね** さん

入社3年目で、設計・開発を行うT&Dセンターに所属しています。会社は電縫鋼管を作るミル（ロール成形機）の世界的メーカーで、入社して2年間はCADでこれらの部品の設計図や3次元モデルの作製などに携わってきました。今年の4月からは成形ロール設計を主に担当しています。

大学は商学部で理系出身ではなく、CADについての知識も、触れたこともないところからのスタートでした。それでも使い方や製図を勉強し、社外のセミナーなどにも参加しました。

CADもやってみると意外に面白いものです。もともと数学が好きだったので、合っていたのかもしれません。2次元の部品図から3次元モデルを作り、それらが実際に立体に組み立てられてくるとすごく楽しいし、感動もします。ロール設計はまだまだ勉強中で、製図や寸法の入れ方などで戸惑うことも多いです。

文系出身で知らないことが社内の誰よりも多いと思っていますが、だからこそ日々学んで吸収していく。この姿勢では負けないように頑張り、仕事のレベルを上げていきたいです。

休日は地元のバレーボールチームの練習で汗を流しています。会社から補助をいただいて、英会話教室にも通わせてもらっており、充実した毎日を送っています。

好きな言葉は「ポジティブ（前向き）に」。落ち込むことがあってもすぐに立ち直ってしまう。これが特技です。

広告特集

モノづくり女子 モノジョ

現在、製造業を中心に働く女性“モノづくり女子”が増えている。
事務職や製造現場などで重要な役割を担う人も多い。
今回、紹介する女性もそれぞれの会社で
女性ならではの知恵と行動力を発揮し、活躍している。
今後産業界が活性化し、発展していくためには
このような人材が欠かせない。

「PDCA」をまわしながら計画的に

総務部 **江口 友規奈** さん

水道メーターは、私たちの家庭に必ず一つあり実は身近なものです。会社説明会で事業内容を聞き、私たちの生活に必要不可欠なものを国内自社一貫生産にこだわり、モノづくりしている点に興味を持ち入社を決めました。

入社後総務部配属で、一般事務の仕事をしながら管理部の仕事にも携わり、4年目となる現在は、製造部で作られた製品のデータ管理等を担当しています。製造工程の違いや、顧客ごとのデータをまとめ、品質管理を徹底するための仕事です。

仕事では「計画力」に自信があります。業務をいかに効率よく、スムーズに進めるかについて日々考え、業務の作業改善に取り組んでいます。また上司や同僚とのコミュニケーションを大切にしながら、滞りなく仕事を進めるように気をつけています。日々の業務の効率化を図り、PDCAをまわしながら工夫できないか常に考えています。

社内は年齢や立場などに関係なく、自由に意見を言える風通しが良い雰囲気です。仕事で悩みごとがあった時には、上司や同僚も親身になって相談に乗っていただいています。会社はICTやIoT関連に力を入れており、今後はシステム管理などの新しいことにも携わっていきたいです。前向きなところが長所で、つらいことがあっても成長の機会と捉えるようにしています。

俯瞰（ふかん）で全体を見て、行動できるように

営業部 **佐藤 悠** さん

大学が文学部だったこともあり、卒業後、フリーペーパーを制作する会社で営業兼記者の仕事をしていました。しかし、子どもの頃からモノを創ることが好きで、モノづくり企業に興味があり、転職を決意しました。設計から製造まで一貫して手がける完全受注方式ですが、待ちの姿勢ではなく治具カタログなどのツールを作り、自社製品をアピールしている積極的な姿勢にひかれ、入社したいと思いました。

アットホームな雰囲気で、わからないことも聞きやすく、働きやすい職場です。現在は、営業が受注した製品の図面にバーコードを付け、工程管理や納期と製造個数を記入し、製造に送る仕事をメインに受付や電話対応、備品の補充などの仕事もしています。営業と製造をつなぐ仕事は間違えが許されない重要な仕事です。例えば、製造個数を少なく申告したりすると、急ぎで追加製造してもらう結果となり、迷惑をかけてしまいます。忙しい時などは、注意力が散漫になり、ミスしてしまうことがあるので、できる限り減らしたいと思っています。

今、注力していることは、みなさんに気持ち良く仕事をしてもらうことです。まず、言葉遣いや態度に気をつけています。また、スキャナーを利用して図面に記入する字を大きくしたり、小さい図面は拡大したり伝わりやすくなるよう工夫しています。入社して5年がたち、俯瞰で全体を見て必要な動きができるよう心がけています。今後は、自社の製品や図面を理解する知識を身に着け、より効率的に仕事ができるようになりたいと思っています。